

8	7	6	5	4	3	2	1	児童用 教師用 聞き取り問題
かいがら ○かんじのはなし	あるけ あるけ ○はなしたいな ききたいな ○かぞえうた	おおきな かぶ ○としよかんは どんな ところ ○ことばあそびうたを つくろう ○かたかなを みつけよう ○えにつきを かこう	あひるの あくび ○のばす おん どう やって みを まもるのかな ○いしやと いしや ○こんな こと したよ	さとうと しお ○をへを つかおう ○きいて つたえよう ○ねこと ねっこ ○ことばあそび	とん こと とん ○はを つかおう	あめですよ ○ふたと ぶた ○みんなに はなそう ○ぶんを つくろう	きこえるよ	
								
								教師用
								聞き取り問題

① せんせいがいう ことばを きいて、えに あう ただし ことばを えらんで、（ ）に ○を つけましょう。

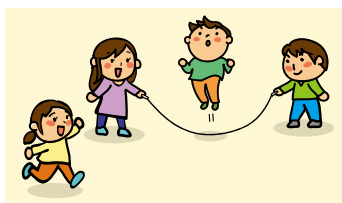
【20各10】

(設問については、児童の実態により、補説してください。)

1 がっこうから いえへ かえる とき。 2 いっしょに あそびたい とき。



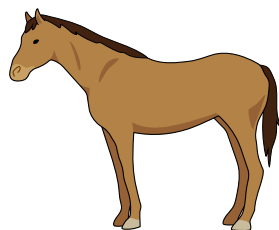
() さようなら。
() おはよう。



() だいじょうぶ。
() いれて。

② せんせいがいう ことばを きいて、□に じを かきましょう。

【40各10】



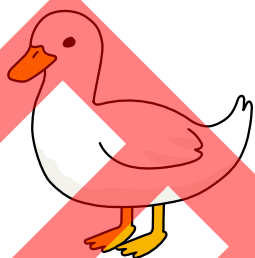
ま



は け



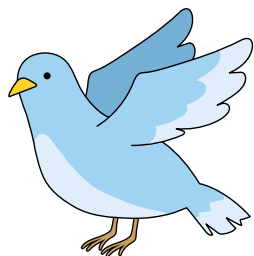
き

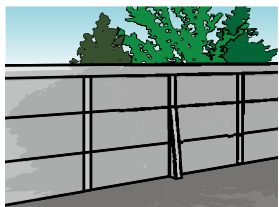


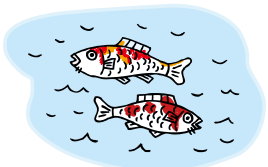
ひ る

③ せんせいがいう ことばを きいて、えに あう ことばを かきましょう。

【40各10】









1 『あめですよ』について もんだいに こたえましょう。

『40各10』

えに あう おはなしを したから えらんで、 ●と○を せんで むすびましょう。

あめ あめ だいすき

とん とん

あめ あめ

どん どん

あめ だいすき

とん とん

あかい かさ

あかい ながつ

らん らん

らん らん

ぶう あめ きらい

ぶう

とよたかずひこ「あめですよ」より

2 えを みて、 に ことばを かきましよう。

『40各10』

(絵の言葉を読んで説明を補足してください。)

3 したの えに あうように「 が 」の ぶんを ふたつ つくりましよう。 ぶんの おわりには 〇 も つけましよう。

『20各10』

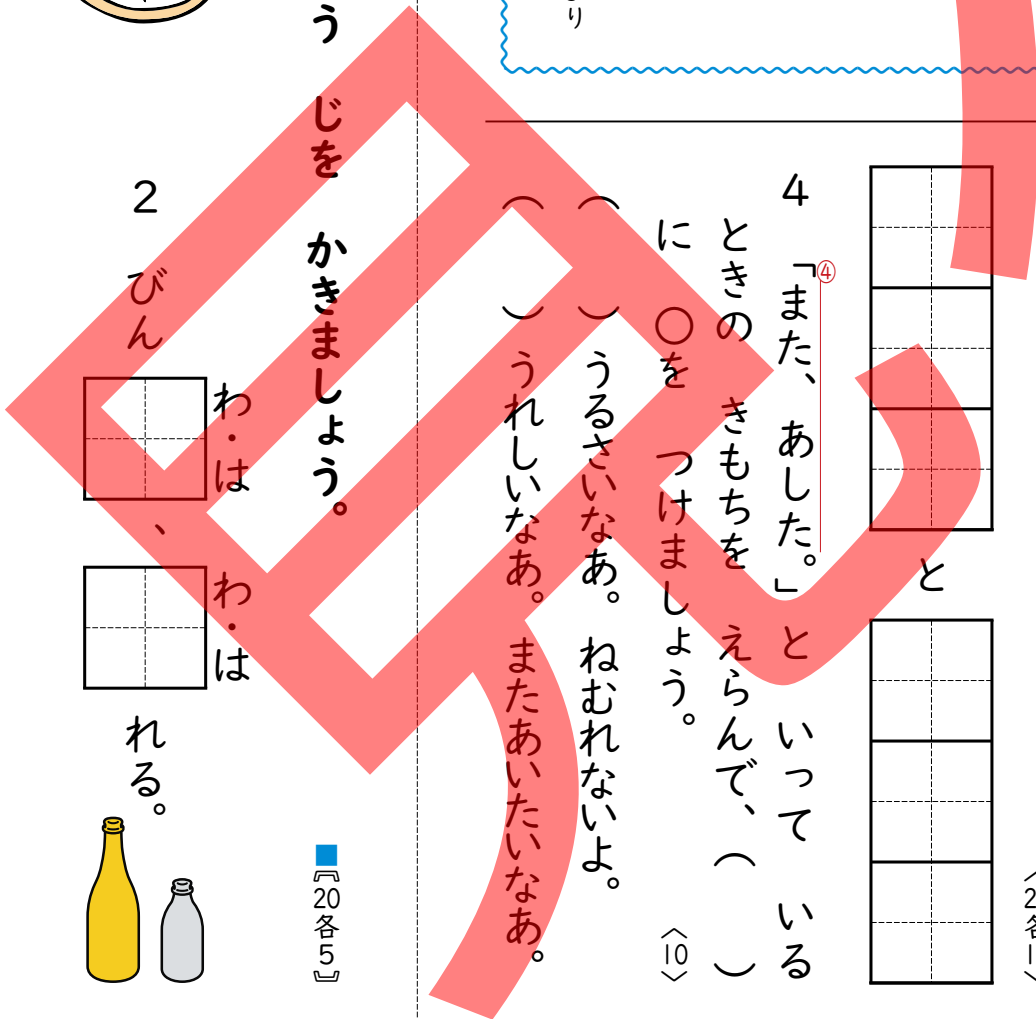
れい

ひとがあるく。

1

2

(必要に応じて絵の説明を補足してください。)



さとうと しお
きへを つたえよう
ねて つたえよう
ことば あそび

(設問については、児童の実態により、補説してください。)

知識
技能

／50

思考
判断
表現

／50

1 つぎの ぶんしょうを よんで、
もんだいに こたえましょう。

『50』

さわって みると どうでしょう。
さとうは、すこし べたべたして います。
しおは、さらさらして います。

どんな あじが するでしょう。
さとうは、あまい あじが します。
しおは、しおからい あじが します。

なにから できるのでしょうか。
さとうは、はたけの しよくぶつから
できます。

しおは、うみの みずから できます。
どちらも たべものを おいしく します。
「さとうと しお」より

1 さとうと しおには どんな
ちがいが あるのでしょうか。
それぞれ あうように ●と○を
せんで むすびましょう。

〈40各10〉

さとうは ●

○。さらさらして
います。

しおは ●

○。すこし べたべた
しています。

さとうは ●

○。はたけの しよくぶつ
から できます。

しおは ●

○。うみの みずから
できます。

2 さとうと しおの について いる
ところに ○を つけましょう。

〈10〉

どちらも たべものを

まずく おいしく します。

2 に あう じを かきましよう。

お・を お・を

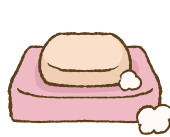
1 か

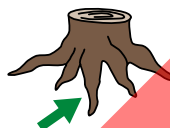
あらう。

『20各5』

3 えを みて、 に ことばを かきましよう。

--	--	--	--





『10各5』

(絵の言葉を読んで説明を補足してください。)

4 えを みて、 しりとりに なるように に ことばを かきましよう。

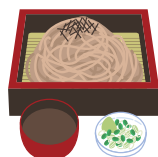
--	--	--	--



み	そ
---	---

『20各10』

な ま え



あひるの あくび
〇のばす おん
どう やつて みを
〇いしやと いしや
こんな ことししたよ

まもるの かな

1 つぎの ぶんしょうを よんで、
もんだいに こたえましょう。

『50』

① これは、
です。

あるまじろの からだの そとが
わは、かたい こうらに なって
います。

② どのように して みを まもる
のでしょうか。

あるまじろは、からだを まるめ
て、みを まもります。

てきが きたら、

こうらだけを みせて、
じっとして います。

「どうやって みを まもるの かな」より



1
なまえを
に あう どうぶつの
かきましよう。

〈10〉

2 あるまじろの からだの そとがわ
はどうなっていますか。

〈10〉

なっています。

3 あるまじろは どのように して
みを まもるのですか。

〈30 各10〉

あるまじろは、からだを

、みを

まもります。

てきが きたら、

だけを みせて、

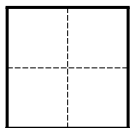
して います。

2
の うえの じを のばして よみます。えを
「あ・い・う・え・お」を かきましよう。

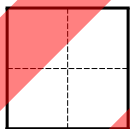
『15 各5』



とけ



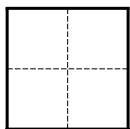
おば



さん



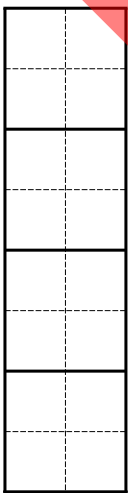
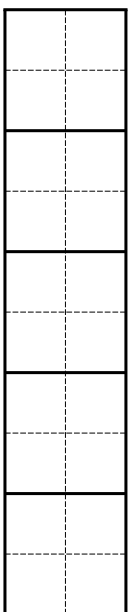
そ



じ

3 えをみて、
に ことばを かきましよう。

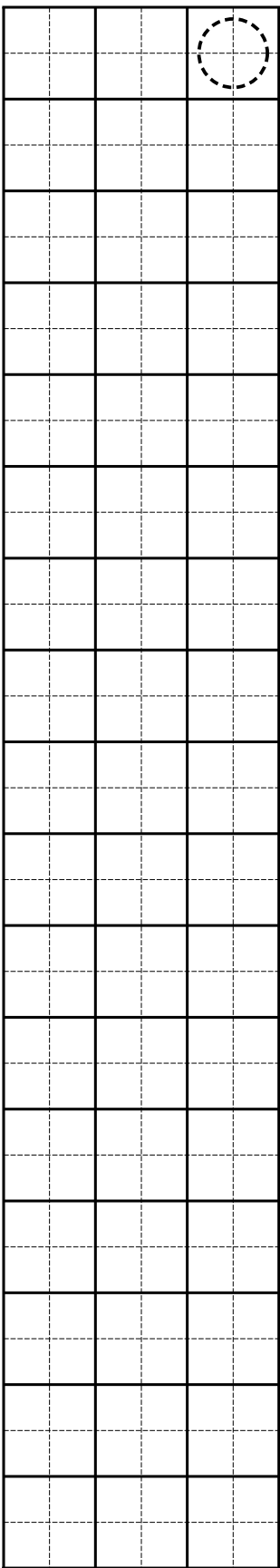
『20 各10』



(絵の言葉を読んで説明を補足してください。)

4 がっこうで した ことで、いえの ひとに しらせたい ことを くわしく
かきましよう。

『15』



おおきな かぶ
○としよ かんは どんな ところ
○ことば あそびうたを つくろう
○かたかなを みつけよう
○えにつきを かこう

3 だれが どんな じゅんじよで かぶを ひっぱったのか、

（句読点の使い方を指導しておいてください。）

30
各
10

ねこは、ねずみをよんで
きました。

ねずみがねこをひっぱって、
ねこがいぬをひっぱって、
いぬがまごをひっぱって、
まごがおばあさんをひっぱって、
おばあさんがおじいさんを
ひっぱって、
おじいさんがかぶをひっぱって、
「うんとこしよ、どっこいしょ。」

「うちだりさこ
訳やく
「おおきなかぶ」より

えらんで かきましよう。 （10）

それでも やっと まだまだ

に あう ことばを から

(解答欄に書くように説明を補足してください。)

2 みんなは なんと いって かぶを
ひっぱったのですか。

[illegible]

3 つぎのことをかたかなで
かきましよう。

20 各 10

くれよん

[illegible]

2
ぼ^ううる



2 たべものや どうぶつの おとや
ようすを おもいうかべて、 かきま
しょう。

【20各10】

20 各 10

1

--	--

なっとう

2

なまえ

20 各 10

はなびがきらいで
よかつたですね。

そうめんをじょうずに
つかめてよかつたですね。

きゆうりがとれて
よかつたですね。

 $\hat{10}$ $\hat{10}$ $\hat{10}$

20 各 10

ち

20
各
10

1 ー
八|
っ ー

2 ー
九|
っ ー

1 つぎのおはなしをよんで、もんだいにこたえましょう。 『50』

「うさぎちゃん、どれがすき。」

「これよ。これがいちばんすき。」

うさぎのこは、しまもようのかいがらをさしました。

「ああ、ぼくといっしょだ。」

くまのこも、おなじものが

いちばんすきでした。

、うさぎのこが

もみいろのかいがらをすきだと

いったら、くまのこは、おみやげ

にあげるつもりでした。

もみいろのかいがらは、二ばん

めにきにいつていたものな

のです。

くまのこは、どうしようかと

おもいました。

そして、かいがらをそっとし

まって、うちへかえりました。

もりやまみやこ「かいがら」より

1 にあうことばを から

えらんで かきましよう。 『10』

また もし だから だって

(解答欄に書くように説明を補足してください。)

2 「これよ。これがいちばんすき。」

といったのはだれですか。 『10』

3 なにがぼくといっしょですか。

()に○をつけましよう。 『10』

()うさぎのこがもみいろの

かいがらをいちばんすきなこと。

()うさぎのこがしまもようの

かいがらをいちばんすきなこと。

4 くまのこが二ばんめにきにいつていたかいがらはなんですか。 『10』

(句読点の使い方を指導しておいてください。)

5 どうしようかとおもいましたと

ありますが、くまのこは、なにを

まよっているのですか。 『10』

2 つぎのそれぞれのかたちから

どんなかんじができましたか。

□にかんじをかき、()に

よみがなをかきましよう。 『30各5』







3 つぎのしるしからできたかんじを□にかきましよう。 『20各10』

1 ● よこぼうより うえ

2 ● よこぼうより した

① せんせいがいう ことばを きいて、えに あう ただし ことばを えらんで、()に ○を つけましょう。

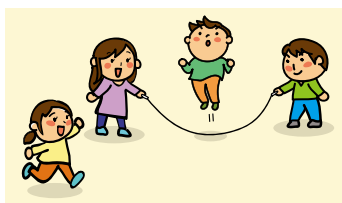
【20各10】

(設問については、児童の実態により、補説してください。)

1 がっこうから いえへ かえる とき。 2 いっしょに あそびたい とき。



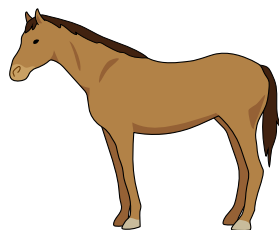
() (○) さようなら。
() おはよう。



() (○) だいじょうぶ。
() (○) いれて。

② せんせいがいう ことばを きいて、□に じを かきましょう。

【40各10】



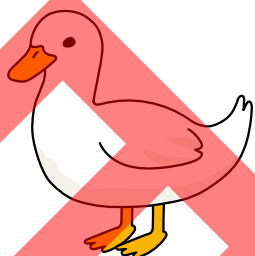
う ま



お ば け



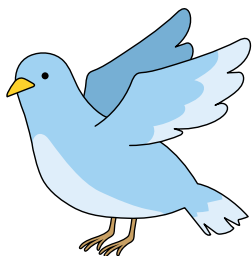
え き



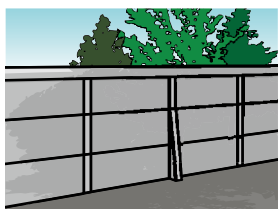
あ ひ る

③ せんせいがいう ことばを きいて、えに あう ことばを かきましょう。

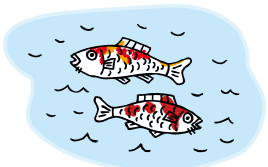
【40各10】



と り



へ い



こ い



つ く し

(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえ、記述より判断し、部分点を与えてください。

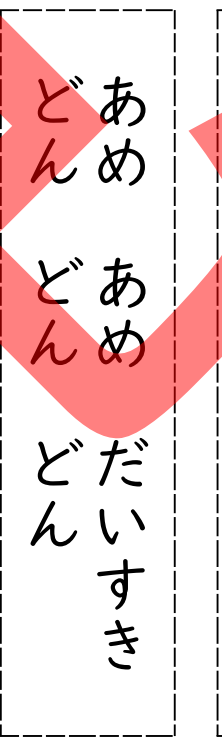
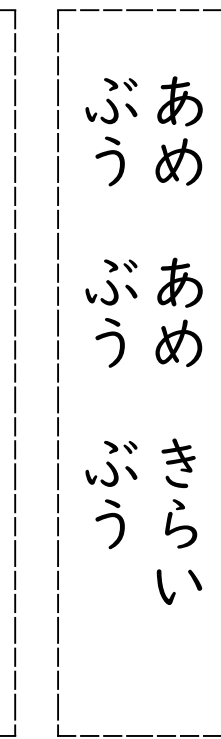
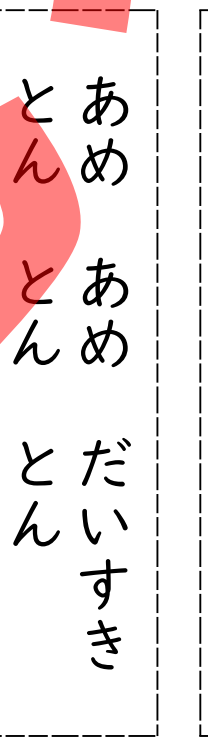
※無断で複写・複製をすることを禁じます。

東 書	
1年	
2	
令7 国上	
あめですよ	
○ふたとぶた	○みんなはなそう
○ぶんをつくろう	
P 24～37	
な ま え	
■ 知識技能	/60
■ 思考判断表現	/40

(句点の書き方、使い方を指導しておいてください。)

1 『あめですよ』について もんだいに こたえましょう。 『40各10』

えに あう おはなしを したから えらんで、 ●と○を せんで
むすびましょう。



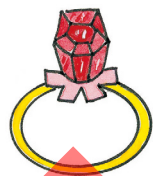
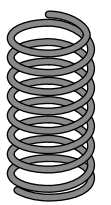
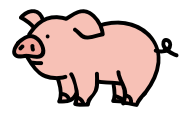
あめ どん どん だいすき

あめ どん どん だいすき

あかい ながつ らん らん らん

あめ ぶう ぶう きらい

2 えを みて、 に ことばを かきましよう。 『40各10』



ぶた

ばね

ゆびわ

てんとうむし

(絵の言葉を読んで説明を補足してください。)

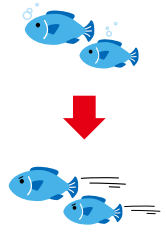
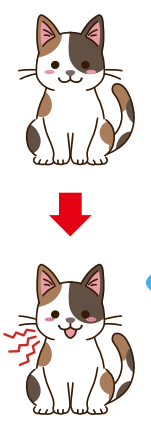
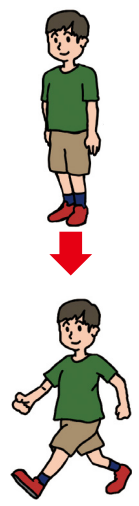
3 したの えに あうように「 が 」の ぶんを ふたつ つくりましよう。 ぶんのおわりには 〇 も つけましよう。 『20各10』

れい

ひとがあるく。

さかながおよく。

ねこがなく。



※句点がなければ2点減点。(教師判断)(必要に応じて絵の説明を補足してください。)

(設問については、児童の実態により、補説してください。)

1 つぎの おはなしを よんで、
もんだいに こたえましょう。

『50』

① ねずみは、ゆかを たたきました。

とん こと とん。

へんじが ありません。

② だれかが、とびらを たたきました。

「きみの いえの したに、

ひっこして きた もぐらです。

よろしくね。」

③ ふたりは、なかよしに なりました。

とん こと とん。

「おやすみなさい。」

とん こと とん。

④ 「また、あした。」

ぶしかえつこ「とん こと とん」より

1 ねずみは、ゆかを たたきました
と ありますが、どんな おとがし
ましたか。 〈10〉

とん こと とん

2 とびらを たたきました と あり
ますが、だれが たたきましたか。 〈10〉

もぐら

3 ふたり とは、だれとだれですか。 〈20各10〉

ねずみ と

もぐら

4 「また、あした。」と いて いる
ときの きもちを えらんで、()
に 〇を つけましょう。 〈10〉

※順不同

() うるさいなあ。 ねむれないよ。

() うれしいなあ。 またあいたいなあ。

2 したの えを みて、 に あう

じを かきましよう。

『20各5』

1

わ・は は

わ・は は

、しろい。



2 びん

わ・は は

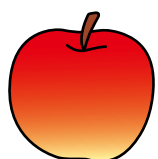
わ・は わ

れる。



3 えを みて、 に ことばを かきましよう。

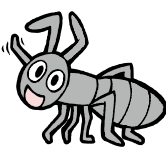
『30各10』



りんご



わに



あり

な ま え

切りはなして使えます

さとうと しお
きへを つたえよう
ねこと ねつこ
ことば あそび

知識 技能	／50
思考 判断 表現	／50

(設問については、児童の実態により、補説してください。)

1 つぎの ぶんしょうを よんで、
もんだいに こたえましょう。

『50』

さわって みると どうでしょう。
さとうは、すこし べたべたして います。
しおは、さらさらして います。

どんな あじが するでしょう。
さとうは、あまい あじが します。
しおは、しおからい あじが します。

なにから できるのでしょうか。
さとうは、はたけの しよくぶつから
できます。

しおは、うみの みずから できます。

どちらも たべものを おいしく します。
「さとうと しお」より

1 さとうと しおには どんな
ちがいが あるのでしょうか。

それぞれ あうように ●と○を
せんで むすびましょう。

〈40各10〉

さとうは ● さらさらして
います。

しおは ● すこし べたべた
しています。

さとうは ● はたけの しよくぶつ
から できます。

しおは ● うみの みずから
できます。

2 さとうと しおの にて いる
ところに ○を つけましょう。

〈10〉

どちらも たべものを

まずく
おいしく します。

2 に あう じを かきましよう。

お・を お・を

1 か お を あらう。

3 えを みて、 に ことばを かきましよう。

『10各5』

せ っ
け ん

ね っ
こ

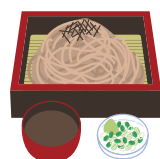
(絵の言葉を読んで説明を補足してください。)

4 えを みて、しりとりに なるように に ことばを かきましよう。

『20各10』

み そ
そ ば
ば っ
た

な ま え



切りはなして使えます

(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえ、記述より判断し、部分点を与えてください。

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

東 書
1年

5

令7 国上

あひるの あくび
〇のばす おん
どう やつて みを まもるのかな
〇いしやと いしや
〇こんな ことしたよ

P62~81

な ま え

知識技能	／35
思考判断表現	／65

1 つぎの ぶんしょうを よんで、
もんだいに こたえましょう。 『50』

① これは、 です。

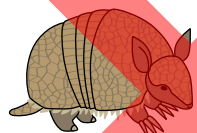
あるまじろの からだの そとが
わは、かたい こうらに なって
います。

② どのように して みを まもる
のでしょうか。

あるまじろは、からだを まるめ
て、みを まもります。

てきが きたら、

こうらだけを みせて、
じっとして います。



「どうやってみをもるのかな」より

1 に あう どうぶつの
なまえを かきましよう。 〈10〉

あるまじろ

2 あるまじろの からだの そとがわ
はどうなっていますか。 〈10〉

(句読点の書き方、使い方を指導しておいてください。)

かたいこうらに
なっています。

3 あるまじろは ②のように して
みを まもるのですか。 〈30各10〉

あるまじろは、からだを

まるめて、みを

まもります。

てきが きたら、

こうらだけを みせて、

じっとして います。

2 の うえの じを のばして よみます。えを みて、に
「あ・い・う・え・お」を かきましよう。 『15各5』



とけ

い



おば

あ

さん



そ

う

じ

3 えを みて、に ことばを かきましよう。 『20各10』



びよ
うい
ん



しよ
っ
き

(絵の言葉を読んで説明を補足してください。)

4 がっこうで した ことで、いえの ひとに しらせたい ことを くわしく
かきましよう。 『15』

ろ	ま	○
い	し	ぼ
は	た	く
な	ど	は
し	う	ひ
で	ぶ	る
し	つ	や
た	が	す
	で	み
	て	に
	き	ほ
	て	ん
		を
	お	よ
	も	み
	し	

※・詳しい文
・句読点が正しい

各5点×3 (教師判断)

(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえて、記述より判断し、部分点を与えてください。

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

東 書	
1年	
6	
令7 国上	
おおきな かぶ ことばあそびうたを かたかなをみつけよう えに えにつきを かこう	
P82~105	
な ま え	
知識 技能	/40
思考 判断 表現	/60

1 つぎのおはなしを よんで、
もんだいに こたえましょう。 『60』

ねこは、ねずみを よんで
きました。
ねずみが ねこを ひっぱって、
ねこが いぬを ひっぱって、
いぬが まごを ひっぱって、
まごが おばあさんを ひっぱって、
おばあさんが おじいさんを
ひっぱって、
ひっぱって、
おじいさんが かぶを ひっぱって、
「うんとこしょ、どっこいしょ。」
やっと、かぶは ぬけました。

1 に あう ことばを から
えらんで かきましよう。 『10』
それでも やっと まだまだ

2 みんなは なんと いって かぶを
ひっぱったのですか。 『10』
(解答欄に書くように説明を補足してください。)

うんだりきこ 訳 「おおきなかぶ」より

2 たべものや どうぶつの おとや
ようすを おもいうかべて、かきま
しょう。 『20各10』

1 ねばねば なつとう
2 ぴよんぴよん うさぎ

な ま え

3 だれが どんな じゅんじよで
かぶを ひっぱったのか、
に かきましよう。 (句読点の使い方を指導しておいてください。)

ねずみ
ねこ
いぬ
まご
おばあさん
おじいさん
かぶ

4 かぶが ぬけたとき、みんなは
どんな ことを いったと
おもいますか。ひとり えらんで
かきましよう。 『完答10』

(例) だれが ねずみ
いったことは
(例) やっとぬけた。うれしいな。
(ちゅうちゅう。)

※句点がなければ
2点減点。(教師判断)

3 つぎのことばを かたかなで
かきましよう。 『20各10』

1 くれよん
2 ぼうる

ボール



聞き取り問題

1 ゆうさんの なつやすみの はなしに あう しつもと かんそうを
一つずつ えらんで () に ○を つけましょう。

しつもん

『20各10』

- () すきな らあめんの
あじは なんですか。
 - () なんの げえむを
しましたか。
 - (○) だれと ながしそめんを
しましたか。
- (必要であれば、選択肢を読んでください。)
- () はなびが きれいで
よかったですね。
 - (○) そうめんを じょうずに
つかめて よかったですね。
 - () きゅうりが とれて
よかったですね。

2 つぎの しを よんで、 もんだいに
こたえましょう。

『40』

あるけ あるけ つるみ まさお
どこどん あるけ
あるけ あるけ
ちきゅうの たいこ
みんなの あしで
たたいて あるけ
そら



あるけ
どこどん どこどん
あるけ あるけ
ちきゅうの うらで
だれかの あしも
たたいて いるよ
ほら
どこどん どこどん
あるけ

1 [] に あう ことばを しの
なから さがして かきましよう。

『10』

どこどん どこどん

2 だれかの あしも たたいて いる
よと ありますが、どこで たたいて
いますか。

『10』

ちきゅうのうらで

かんそう

3 この「あるけ あるけ」は、ちきゅ
うを なにに たとえて いますか。
あう ものを 一つ えらんで、
() に ○を つけましよう。

『10』

- () ぼうる
- () けえき
- (○) たいこ



4 この「あるけ あるけ」は どのよ
うに よむと よいですか。
一つ えらんで () に ○を
つけましよう。

『10』

- () しずかに よむ。
- (○) げんきに よむ。

3 つぎの ことばを かんじで
かきましよう。

『20各10』

1 [五] ご ひき 2 [四] よん さつ

4 つぎの — の かんじの
よみがなを () に かきましよう。

『20各10』

1 (やっ) 八 つ 2 (この) 九 つ

(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえ、記述より判断し、部分点を与えてください。

【無断で複写・複製をすることを禁じます。】

東 書	
1年	8
国 語	
かいがら	
○かんじのはなし	
P118～129	
な ま え	
知識技能	／50
思考判断表現	／50

1 つぎのおはなしをよんで、もんだいにこたえましょう。 『50』

「うさぎちゃん、どれが好き。」
「これよ。これがいちばん好き。」
うさぎのこは、しまもようの
かいがらをさしました。
「ああ、ほんとにいいものだ。」
くまのこも、おなじものが
いちばん好きでした。
もし、うさぎのこが
もみいろのかいがらを好きだと
いったら、くまのこは、おみやげ
にあげるつもりでした。
もみいろのかいがらは、二ばん
めにきにいつていたものな
のです。
くまのこは、どうしようかと
おもいました。
そして、かいがらをそっとし
まって、うちへかえりました。
もりやまみやこ「かいがら」より

1 []にあうことばを []から
えらんでかきましょう。 『10』
また もし だから だって

(解答欄に書くように説明を補足してください。)

2 「これよ。これがいちばん好き。」
と いったのはだれですか。 『10』

うさぎ うさぎのこ
うさぎちゃん (教師判断)

3 なにが ぼくと いっしょですか。
()に ○を つけましょう。 『10』

() うさぎのこが もみいろの
かいがらを いちばん すきなこと。
(○) うさぎのこが しまもようの
かいがらを いちばん すきなこと。

4 くまのこが二ばんめにきに
いつていたかいがらはなんです
か。 『10』

もみいろのかいがら

5 どうしようかと おもいましたと
ありますが、くまのこは、なにを
まよって いるのですか。 『10』

(しまもようの)かいがらを
うさぎのこにあげることを。
※一番好きなかいがらをうさぎのこにあげようかまよっ
てゐることが書かれていけばよい。
※文末は問わない。句点がなければ2点減点。(教師判断)

2 つぎのそれぞれのカタチから
どんなかんじができましたか。
[]に かんじをかき、()に
よみがなをかきましょう。 『30各5』

Illustrations and Kanji boxes:

- Illustration of an eye pointing to a box containing the kanji 目 (め).
- Illustration of a tree pointing to a box containing the kanji 木 (き).
- Illustration of a mountain pointing to a box containing the kanji 山 (やま).

3 つぎのしるしからできた
かんじを []に かきましょう。 『20各10』

1 ● よこぼうより うえ
2 ● よこぼうより した

Boxes containing the kanji 上 (うへ) and 下 (した).

あるけ あるけ

○はなしたいな ききたいな
○かぞえた

P106~117
な ま え

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

聞き取り問題

※はじめにテストを裏返して配る。

必要であれば学級の実態や目的に応じて言葉を添えてもよい。

二次元コードの
読み取りもしくは
クリックで再生

音声データ



※問題文が
読み上げられます。

1

聞き取り問題を始めます。テストは裏になっていますか。(確認する。)ゆうさんは、夏休みの出来事をみんなに話しました。今からそのゆうさんのはなしを二回読みます。全部聞き終わってから、問題に答えましょう。(一回を三十秒程度の目安で読む。)

わたしは なつやすみに ながしそうめんを しました。
いえの にわで しました。そうめんを はして つかむとき じょうずに できる
か どきどきしました。たくさん つかんで たべることが できて、とても うれし
かったです。

らいねんは ともだちも よんで、いっしょに ながしそうめんを したいです。

(もう一度読みます。)

これで読むのは終わりです。テストを表にして始めましょう。